

令和5年度 月影保育園 評価 全体のまとめ

○保育理念・保育館

本年度も、保育課程・年間計画・月計画・目標・基本方針など、子どもの発達状況に合わせ、異学年でも照らし合わせて作成している。5月より、コロナが5類に移行し、保育活動や行事など少しずつ以前のように戻しつつ、目標が達成できるよう工夫して行った。今後も、日々実践しながら、時々状況に沿ってさらに検討し、子どもの実態に合わせて、職員会議等において全職員で確認、修正していく。

○保育の内容

職員会議で毎月、行事や活動について反省評価をして、次の活動に生かしている。

行事や活動は「目標」を大切にできており、内容や方法を工夫しながら、目標に向かって実施出来ていたと思う。今後も中身の見直し工夫を続けながら、子どもにとって楽しく思い出となる行事や活動になるよう取り組んで行きたい。

手洗い、うがい、消毒、換気、マスクの着用等、毎日の指導を今後も継続して行きたい。今まで以上に子供の健康観察に留意し、何かあったらすぐに対処していくようにする。

職員会議で話し合われている子供の表れを、全職員で共有し有効に指導していく。

○保健・安全管理

身長・体重の測定、医師の診断から、子どもの発達・発育の状態を把握し、日常の保育に生かしていく。

園児の体調の些細な変化や異常に速やかに対応できるよう、日常的な体調をしっかりと握っておくようにする。

子ども一人ひとりの体調をしっかりと把握して、食事の量や内容を変えるなどの配慮をする。

日々、園庭や保育室等に危険なものがないか調べ、安全点検を怠らないようにする。

地震や火災等の災害に備え、毎月の避難訓練で、非常時に自分が何をしなければならないか、確認していく。

○ 保護者との連携、育児支援

保護者面談をゆとりをもってできるようにしたので、個々に丁寧に話し合うことができた。今後も、保護者の想いや保育士の願い等を伝え合う場になるよう活用していきたい。必要に応じて、保護者にしっかりと丁寧に伝え、子どもについて情報を共有していくよう努めていく。

今年も、新しい形式による自己評価を取り入れました。自己の保育を見つめる機会をとらえて、謙虚に自分自身の保育を見直して行きましょう。

令和6年3月22日

園長 浅井 哲朗